

大きな数のつまずきをなくすための位取り板の利用

単 元	一万をこえる数	対象学年	3 年
ね ら い	位取り板を使って、一億までの数の仕組み、よみ方、かき方を正しく理解することができる。		

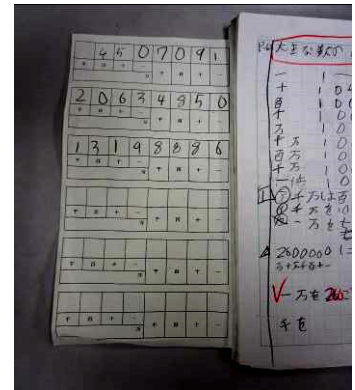
1 準備するもの

教師： 児童がノートに貼ることができる大きさの位取り板

2 学習のしかた

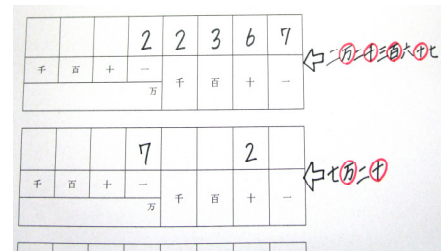
(1) 位取り板の使い方を確かめる。

ノートからはみ出すように位取り板を貼り、いつでも使えるようにする。それぞれの位の読み方を確かめる。



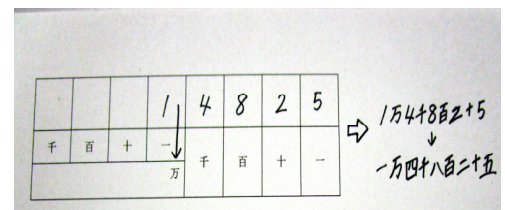
(2) 位取り板を使って大きな数を数字でかく練習をする。

漢字で書かれた数を数字にかき直す練習をする。漢字で書かれた数の位を表す字に丸を付け、丸が付いていない漢字を位取り板のそれぞれの位に当てはめて数字でかき入れるように指導する。空位のある数は、分かっている数字を位取り板にかき入れ、数字をかいていない場所に、最後に0をかき入れるように指導する。



(3) 位取り板を使って大きな数をよむ練習をする。

数の読み方を漢字で書く練習をする。数字でかかれた数を位取り板に写させる。このときに、右側の数字からかき写すのではなく、何の位までであるのかを確かめてから、一番左の数字からかき写すように指導する。数字が写せたら、位取り板を大きい位から順に縦によみ、数字を漢字に直し、ノートに写させる。



(4) 必要に応じて位取り板を使う。(第2時～)

練習問題をするときには、必要に応じて位取り板を使うように伝える。

3 学習上の留意点

- ・位取り板をいつでも使うことができるように、ノートからはみ出して貼る。
- ・位取り板の□には1つの数字しかかかないことをおさえる。

4 学習の効果

- ・位取り板を使用したことで、空位のある数であることに気付き、正答できる児童が増えた。
- ・大きな数を書くことや、よむことに自信がない児童も、位取り板を使って考えると、正しい答えを導くことができた。初めは「二千三十」を、「200030」と間違っていた児童も、位を意識して「2030」と正しく数を書くことができるようになった。

5 参考資料

※下の位取り表を余白も合わせてB 5程度で印刷すると、児童がノートに貼って使いやすくなる。

千	百	十	一	千	百	十	一
万							

千	百	十	一	千	百	十	一
万							

千	百	十	一	千	百	十	一
万							

千	百	十	一	千	百	十	一
万							